

外科に受診中の患者さんへ

### 臨床研究の実施に関するお知らせ

現在外科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。

ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用や他の研究機関への提供を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

#### ●研究課題名

鼠径ヘルニア術後慢性疼痛に対する手術後に遷延する疼痛に対する加工ブシ末の治療経験

#### ●研究の目的

鼠径ヘルニア術後慢性疼痛（CPIP）は、生活の質（QOL）を著しく低下させる重篤な合併症です。内服薬やブロック注射で改善しない場合にはメッシュ除去・神経切除などの手術を行うことがありますが、このような手術によっても痛みがとれない患者さんをしばしば経験し、その後の治療は非常に難しくなります。近年、慢性疼痛の維持期に脊髄アストロサイトの活性化が関与するということが知られてきており、加工ブシ末はその興奮を抑えることにより疼痛を緩和する可能性が指摘されています。本研究は、CPIP 術後も疼痛が遷延する患者さんに対する加工ブシ末の有効性と安全性を検討することを目的に行われました。

#### ●対象となる患者さん

2025年8月1日から2026年3月31日の間、当科を受診され、CPIP 術後の遷延する疼痛に対して、加工ブシ末を投与して治療を受けられた患者さん。

#### ●研究予定期間：2026年7月31日まで

#### ●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 貝原聡

#### ●使用させていただく試料・情報

治療経過と治療方法、手術所見、病理組織検査 等

#### ●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

#### ●研究機関（情報管理責任者）および問い合わせ先

神戸市立医療センター中央市民病院 外科

研究責任者 成田匡大

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4321（代表）

2026年4月12日作成 第1.0版